

トピックス

製薬協広報委員会主催の第20回広報セミナーが、2012年4月12日、東京コンファレンスセンター品川(東京都港区)で開催されました。「これからの製薬産業を考える」をテーマにファイザー株式会社の梅田社長より講演があり、90名を超える会員会社の参加者は熱心に聴講しました。

製薬協広報委員会では広報委員会委員および会員会社の広報担当者を対象に、製薬産業に携わる者として共通認識を深めるために広報セミナーを開催しています。前回の広報セミナーは2011年10月20日に「これからの製薬産業を考える」をテーマに、製薬協の手代木会長による「日本の医薬品市場の課題～

広報委員会に期待すること～」と欧州製薬団体連合会(EFPIA Japan)の加藤会長による「欧州の製薬企業の現状と将来」の講演を開催しており、今回は「米国の製薬産業とファイザーの取り組み」について、ファイザー株式会社の梅田社長による講演が行われました。以下に、講演内容を紹介します。

講演

米国の製薬産業とファイザーの取り組み

ファイザー株式会社 社長 梅田一郎氏

米国の医療環境

世界の医療用医薬品市場予測は、2015年も米国が首位を維持しますが、新興国が米国に迫る勢いで伸張することが予想されます。日米中3カ国の医療用医薬品市場予測でも米国は依然として主要市場であります。中国が高い成長率で成長を続け、2015



梅田一郎氏

年には日本と肩を並べることが予想されます。一方、米国の医療環境は、人口1人あたりの医療費は日本より高く、2008年のGDPに占める総医療費支出割合が16.0%と他の先進国より高くなっています。また、民間の医療費支出の割合が8.5%と高いのが特徴です。

ご存知のように、米国は日本のような国民皆保険制度を導入しておらず、米国の公的保険は65歳以上の高齢者向けの「メディケア」、低所得者層が対象の「メディケイド」や軍人向けに限定されています。民間保険加入者の約9割は勤務先を經由して加入しています。しかし、不況により雇用主による医療保険の削減や取りやめの傾向にあり、失業率の上昇に伴い医療保険の未加入者が増加しています。

製薬産業は新薬創出によって疾病の克服や健康で安心な社会へ貢献し、収益を研究開発につなげるサイクルを回しています。収益は社会から委託を受けていると理解しており、研究開発の推進で還元する



会場風景

必要があります。2010年の世界企業の研究開発投資額ランキングでは研究開発投資額上位10社のうち5社が製薬関連で、うち3社が米国企業です。また、米国製造業の従業員1人あたりの研究開発投資額は製薬産業が全産業平均の約10倍になっています。さらに、地域別の開発中化合物数の推移をみても米国市場が日本の約6倍であり、世界をリードしています。米国製薬企業による疾患ごとの開発中化合物は、がん領域などアンメット・メディカル・ニーズにシフトしているのが特徴的で、希少疾病医薬品の承認数も増加傾向にあります。

ファイザーの取り組み

ファイザーは1849年にニューヨークで設立されました。従業員数は約100,000人で、製造施設は全世界に約70施設あります。日本法人は1953年にファイザー田辺株式会社が設立され、以来59年間日本に根ざした企業活動を展開してきました。

ビジネス・ユニット制(事業部制)を導入しており、「小規模な企業のスピードと機動力」ならびに「グローバル企業の規模とリソース」を兼ね備え、顧客の多様なニーズをより効果的に予測し対応しています。ファイザーがたどり着いたベストアンサーは、各人がそれぞれのビジネス・ユニットのことを考えて走る「ラグビー型マネジメント」です。

ファイザーのイアン・リードCEOは4つの経営課題を発表しました。1番は「イノベーション基盤の強

化」です。そして「株主価値を最大化させるための資本配分」、「社会からの尊敬の獲得」、「オーナーシップ文化の醸成」が大切であると述べています。

ファイザーの社員が遵守すべき9つのバリュー(価値基準)のうちの1つに「善き市民」があります。その取り組みとして、2011年7月から数年間の予定で「東日本大震災こころのケア支援プロジェクト」を行っています。これは、岩手県、宮城県、福島県のそれぞれの被災地において、医療従事者を対象にトラウマケアについての講習会を行うもので、「より健康な世界の実現のために」中長期的な支援活動を続けてまいります。

広報委員の皆様へ期待すること

製薬協が掲げる重点課題の実現に向けた広報活動、すなわち製薬産業の理解促進、新薬創出・適応外薬解消等促進加算の本格導入、透明性ガイドラインの理解促進など、内資・外資を問わず、日本に投資を呼び込むことができる産業の実現に向けた広報活動に尽力いただきたいと思います。日本市場への投資が集まってこそ「日本発」の創薬・開発が可能になります。

私の座右の銘に「雨垂れ石をも穿つ^{うが}」ということわざがあります。黙々と目標に向かって努力を続けることが大切であると考えています。

(広報部)